



にゅーすれたーふじやま・長泉



2018. 3

春はそこまで

パナソニックエイジフリーショッフ

2月上旬、大陸から強い寒気が入り込みました。北陸地方を中心に記録的な大雪が襲い、福井県の国道8号線では約1500台の車が立ち往生するなど、10日頃まで混乱が続きました。ありがたいことに富士市などは霜が降りたり、水道管が凍ったりする日もあったものの、天候には恵まれ、節分祭の豆撒きも何も困らず楽しむことが出来ました。9日は第23回冬季五輪平昌大会が開幕し、冬季五輪過去最高のメダルを獲得しました（金4・銀5・銅4 計13個）。注目を浴びていなかった選手がメダルを取るというサプライズもあったオリンピックでした。

私はセミナーや展示会等に精力的に出席しました。東京ドームで行われたテーブルウェアフェスティバルや障がい者の関係では富士障害者就労・生活支援センターチャレンジ主催の「富士圏域トップセミナー」

「ユニバーサル就労を考える会」主催の講演会に参加しました。トップセミナーでは新井和宏氏が「これからの社会に必要とされる会社とは？」について講演されました。1時間ではなかなか理解できない部分は『持続可能な資本主義』という本を読んで補いました。少しわかったような気がします。しかし、いろいろな方向から見たら聞いたりしてみるのもおもしろいかなと現在、勉強中です。

株式会社コーチャョーは3月から56期がスタートしました。55期も良い結果がでたので安堵しています。中期経営計画(56期～58期)のもと、会社のビジョンも一新し、各部門の目標→個人目標も出されました。今期の社長が示したスローガンは「不可能なことはない限界をつくるな」です。各職場に掲示してあります。会社方針に「コーチャョー品質」で適確にお客様に対応し、信頼性の高い会社にします。が追記されました。私の部署のコーチャョー品質はやはりお客様に愛されることだと思っています。工場では良いものを生産することが最優先されますが、コーチャョー品質については、それぞれの部署で考えています。最終的にはお客様に喜んでいただくことがコーチャョー品質だと思っています。

ところでみなさんは富士市に世界的な和太鼓演奏の集団があるのをご存じですか？ポストンマラソンを完走後そのまま舞台に駆け上がり三尺八寸の大太鼓を演奏するという衝撃的なデビューをした「鬼太鼓座おんでござ」です。私が最初に出会ったのは富士山の麓での演奏会でした。それこそ魂が揺さぶられるほどの感動を覚えました。



あれから何年たったか、あの感動をもう一度という思いと、広く皆さんと共有したいという思いで、この度「鬼太鼓座富士山応援団」という会を立ち上げ、フェイスブックも作りました。応援団の会員やスポンサーを募集しています。

事務所の TEL は0545-55-0088 FAX は0545-55-1588です。

興味ある方は是非、ご参加ください。

2月末、「NPO 法人楽しいことやら座」の元理事長渡邊金行さん(アグリ班?)が富士宮市人穴のゆとり苑からクヌギの木を伐採して我が家へ届けてくれました。昨年のヤーコン植付け祭のとき、私が何気なく「椎茸も作って食べたいね」なんて呟いたのが発端で椎茸菌うち祭りが実現しました。ヤーコン植付け祭に参加している、やら座メンバーの中村頼彦さんが椎茸を栽培しているというので、お手伝いしてくれました。コーチャョーの古郡さんも手伝ってくれて、3月上旬菌うちをしました。クヌギの木はかなり太くて重いので三人プラス私(?)で実行しました。中村さんは椎茸がなっている木を持参してくれました。菌うちした椎茸は来春には食べられると思うと、今からワクワクします。



渡邊啓視